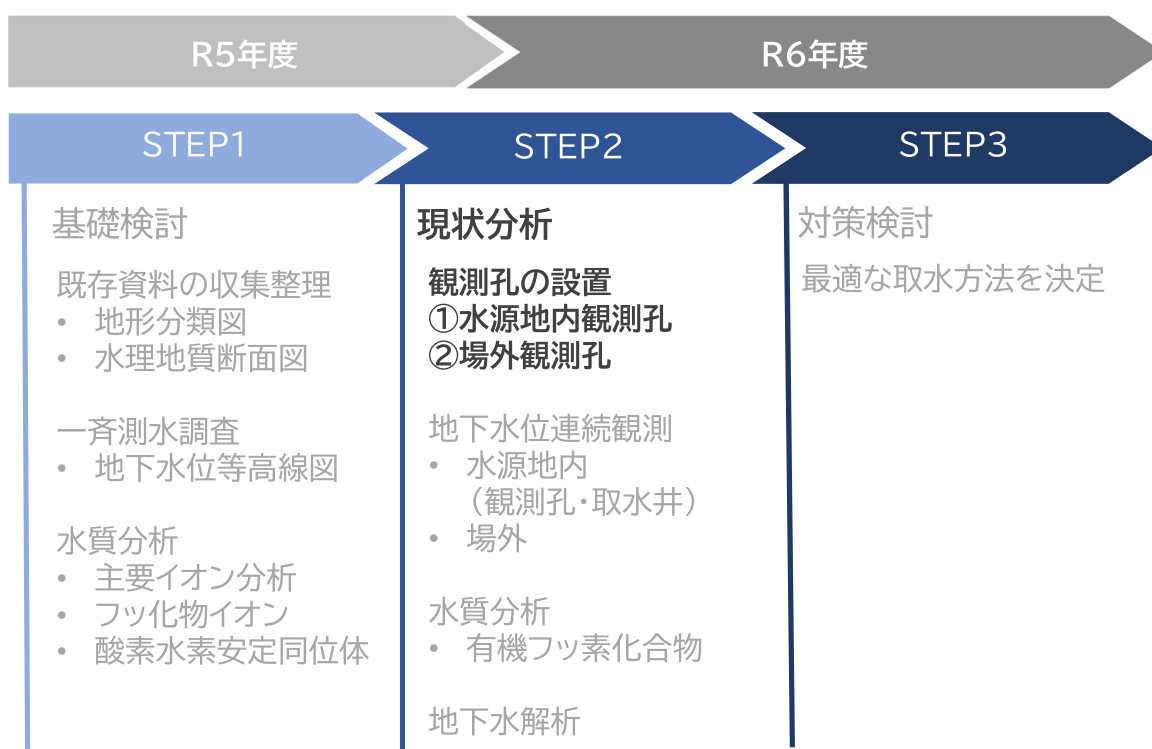


# 現状分析(ステップ2)の今後の進め方

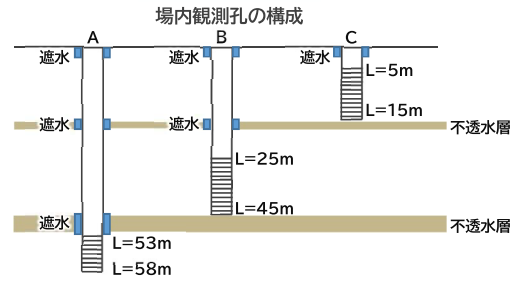
令和6年1月19日(金)  
長野市上下水道局

## 調査の流れ

1



# STEP2 ①水源地内 観測孔設置状況

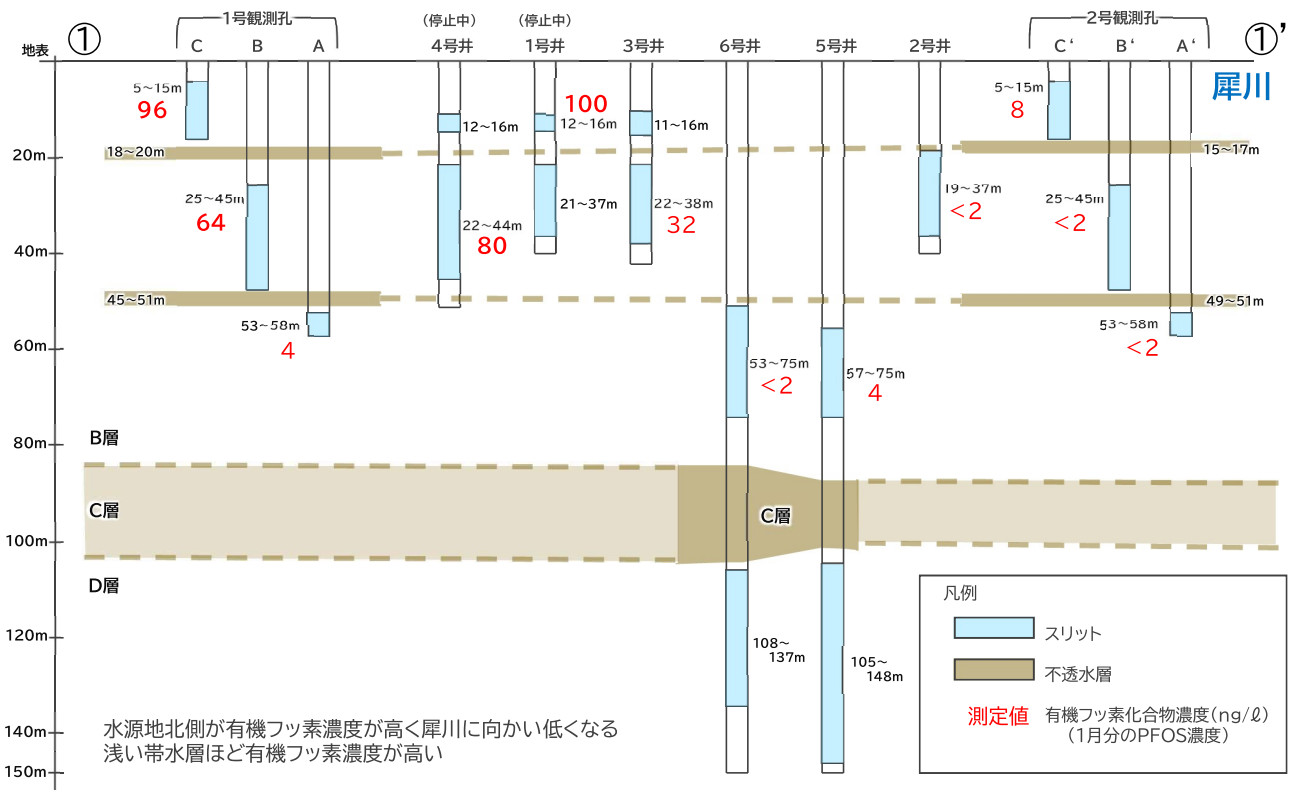


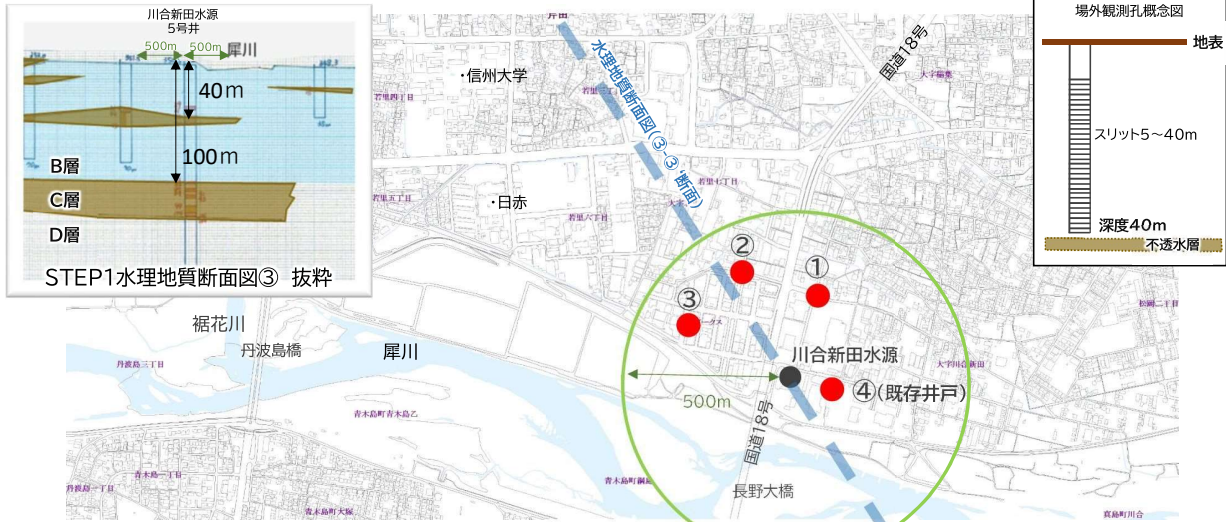
川合新田水源地内のPFOS濃度 (ng/ℓ)

		12月	1月
1号観測孔	C (深度15m)	94	96
	B (深度45m)	56	64
	A (深度58m)	<2	4
4号井 (50m)		—	80
1号井 (40m)		—	100
3号井 (41m)		33	32
6号井 (150m)		<2	<2
5号井 (150m)		3	4
2号井 (40m)		<2	<2
2号観測孔	C' (深度15m)	9	8
	B' (深度45m)	<2	<2
	A' (深度58m)	<2	<2

※PFOAについては、定量下限値未満 (<2[ng/ℓ])

# STEP2 ①水源地内 観測孔・取水井(断面図)

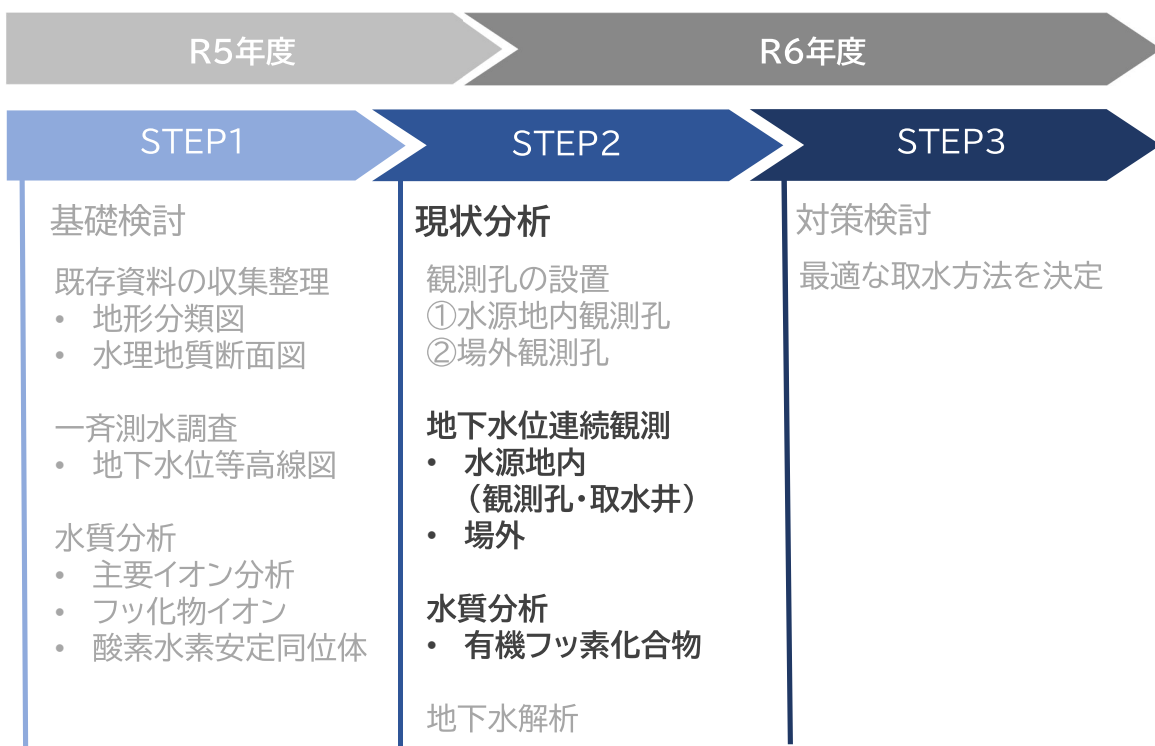


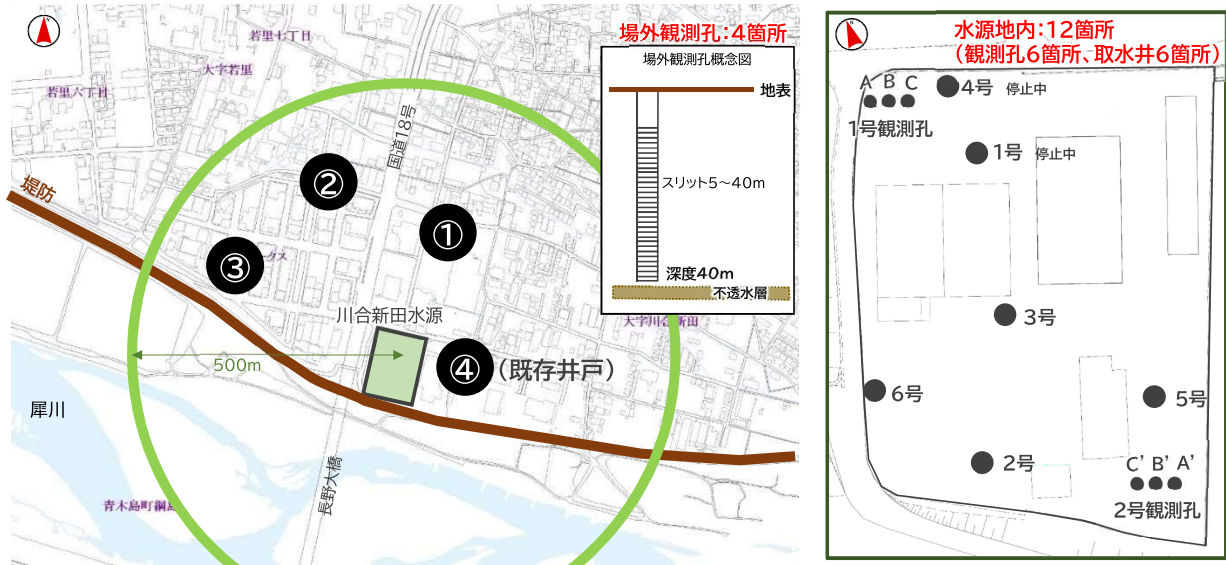


ステップ1(豊水期)の状況から、川合新田水源へは西側からの涵養の可能性が高く、水源は多量に揚水していることから、周辺の地下水を引き込む可能性がある。

候補地は半径500m以内で、周辺を囲むように新設観測孔①～③と既存井戸④の合計4箇所を提案する。

場外観測孔は、水理地質断面図と水源地内の観測孔の結果から深度5～40mにスリットを設置する。





### ○地下水水位連続観測

水源地内12箇所及び場外4箇所の合計16箇所に水位計を設置し、1時間ごとのデータを収集することで、水位の変動傾向を調査し、年間を通した地下水の流動状況を把握する。

### ○水質分析(有機フッ素化合物)

水源地内12箇所及び場外4箇所の合計16箇所を対象に月1回の水質分析を実施し、変動傾向を把握する。

	STEP1		STEP2	
	1月	2月	3月	4月以降
第2回専門家会議	19日			
水源地内(観測孔・水源井) 12箇所	水質分析	水質分析	水質分析	水質分析
場外観測孔 4箇所	観測孔地点検討・協議	現地作業		地下水連続観測・水質分析 水質分析
(参考)一斉測水調査(湧水期)				
(参考)地下水流動評価(STEP1)まとめ				

地下水水位連続観測及び水質分析は季節変動を把握するため1年間以上実施する。  
水質分析は、場外観測孔、水源地内観測孔・取水井を対象とし、月始めに実施する。

### 実施期間

水源地内観測孔: 令和6年1月～令和7年3月(予定)  
場外観測孔 : 令和6年4月～令和7年3月(予定)